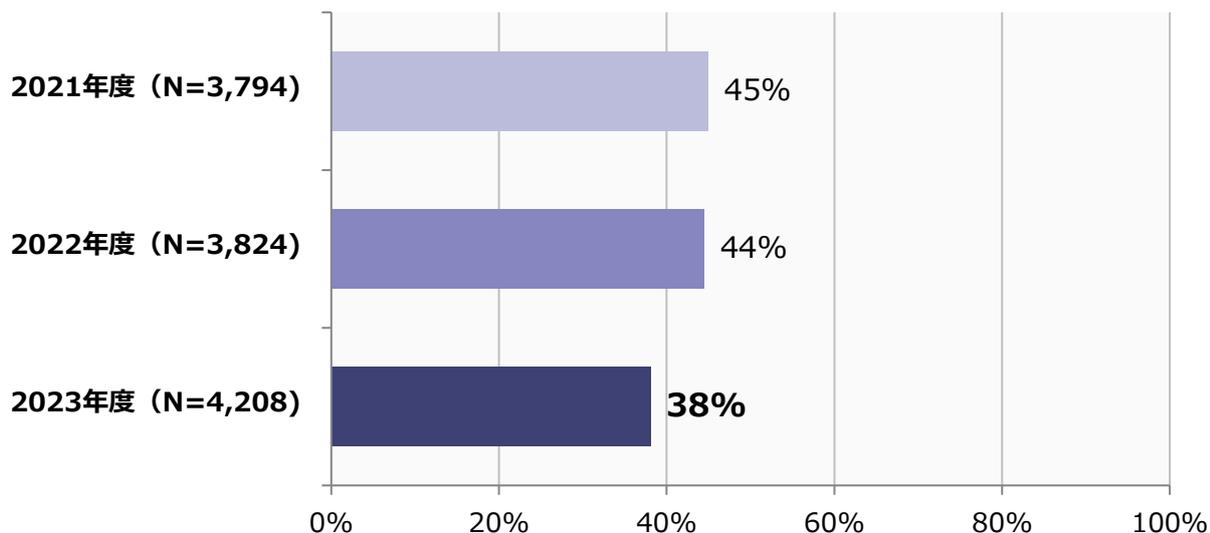


手術時間が予定より延長した手術の割合

予定手術の手術前に申告された予定時間と実際の所用時間を比較して、手術室が効率的に運用されているかを検討します。

ハード面・ソフト面ともに制約のある当院においては、手術室を効率的に運用することにより、手術件数増加・コスト削減が期待でき、病院経営上有益です。

また、適切な手術時間は手術を受ける患者にとっても、術後感染症／合併症防止に有益と言えます。



当院値の定義・算出方法

分子： 手術時間が申告時間を超過した予定手術症例数
分母： 手術時間が申告されている予定手術症例数

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} \times 100 (\%)$$

※グラフ中のN数は分母の値を示しています。

結果の考察および今後の取り組みについて

手術部編成会議の際に予定手術の時間確認を必要に応じて行い事前に調整するようにしました。それに加え、手術室内に各手術室の運用状況を1週間毎に提示し、各自に手術の振り返りをしてもらうと共に、手術部運営会議の際に各科の主任部長に手術室の運用状況を報告し、現状を認識してもらうようにしました。

手術時間延長の割合は38%で、去年度から著しく改善。コロナによる症例制限もほぼ解除され分母となる症例数の中に予定通りに手術が進行しやすい良性疾患が多かったことも影響していると思われます。

文責：麻酔科主任部長
倉富 忍